

選ばれるのには理由がある！

「住みやすい」の秘密

「SUUMO住みたい街ランキング2021関東版」(株式会社リクルート)で、大宮が4位、浦和が8位、さいたま新都心が15位にランクイン。都内の街が上位を占める中、大宮、浦和は4年連続でトップ10に入り、さいたま新都心も着実に順位を上げるなど注目を集めています。人口が増え続けている街さいたま市。なぜ「住みやすい」と言われるのか、SUUMO編集長の池本洋一さんに聞きました。

住んで実感 さいたま市の魅力

池本さんとさいたま市の
つながりを教えてください。

生まれは滋賀県ですが、小学生の頃に親の仕事の都合で浦和に引っ越してきました。結婚を機に市外に転居し、さいたま市以外の街でも生活しましたが、長男が生まれて間もなく戻ってきました。仕事柄いろいろな街を見て回りましたが、「浦和がいい」という結論に達して、今日まで住み続けています。

子どもが少年野球のチームに入ったことで、地域のいろいろな方とつながりが生まれ、地元の良いところを実感しました。

さまざまな要素で、

都市としての合格点を超えている

「SUUMO」編集長

池本洋一さん

PROFILE

SUUMO 編集長
池本洋一さん(49)

浦和区在住。不動産・住宅情報サイト「SUUMO」編集長。1995年リクルートに入社後、編集、広告営業、ブランド戦略、事業開発、『都心に住む』など3誌の編集長を経て、2011年より現職。メディアを通じて住まい領域のトレンドを発信する。SUUMOリサーチセンター長も兼任。

選ばれるのには理由がある！
「住みやすい」の秘密



さいたま新都心にはイベントなどで市内外から多くの方が集まります。(2019年10月撮影)

転入超過数

全年齢	0~14歳
1位 大阪市	1位 さいたま市
2位 東京都特別区	2位 札幌市
3位 横浜市	3位 印西市
4位 さいたま市	4位 流山市
5位 札幌市	5位 つくば市

0~14歳の転入超過数では6年連続で全国トップとなっています。
総務省 住民基本台帳人口移動報告(2020年結果)

スーパーアリーナがあるおかげで、コンサートや試合の観戦などで全国から人が集まります。ショッピングモールのコクーンシティもあり、訪れてみて「きれい」「便利」「こんなに揃っているんだ」とさいたま市に魅力を感じるんですね。

四つ目に、「スポーツ環境の充実」が挙げられます。公園や荒川の河川敷など、のびのびとスポーツができる環境が身近に数多くあることは、子どもにとっても暮らしやすい環境と言えるでしょう。

五つ目として、若い世代の「価値観の変化」があります。かつては、憧れの街に住んでいることを誇るところがありました。しかし、今の若い世代の方の多くは、無理して背伸びすることをむしろカッコ悪いと考えるようになったと感じます。さいたま市は超洗練された街というわけではないですが、教育、スポーツ、自然など、さまざまな要素で、都市としての合格点を超えていて、特に子育て世代にとっては機能漏れのない街です。テレビ番組でもおしゃれな街より、やや雑然とした街のほうが視聴率が取れる時代です。

自分の街のために活動する市民が増えると、今よりもっと良い街になっていくと思います。自分たちがもっと暮らしやすくなるために、住民としてやった方がいい活動が、本当はたくさんあるはずなんです。一番大切なのは「自分の街が好きだ」という思いです。地元が好きで、好きな人に住んでもらえて、周囲と顔見知りの関係が築ければ、防災や防犯の機能も自然と高まります。互いに顔が見えて、「この街が好きだ」「この街のために何かやりたい」と、活動が能動的に生まれてくる。そんな取り組みがもっと増えていくといいですね。

池本さんが思う
さいたま市が選ばれている要因を教えてください。

さいまざまな要因が考えられますが、大きく5つあります。一つ目は、「地の利」です。さいまざまな鉄道路線が通っているのに、南にも北にも行きやすく、抜群のアクセスの良さを誇ります。住みたい街の得票傾向をみると、浦和は地元票や都内

票が多い。一方で大宮は、つながっている沿線の遠方の街からの票が集まります。さいまざまな路線を集約しているという都市構造は、横浜と同じなんですよね。横浜の方が少しおしゃれなイメージですが(笑)。

二つ目に、「買い物環境の面で恵まれている」こと。駅前に商店街や昔ながらの街道筋の景観を残しつつも、大型ショッピングモールが豊か。都内だと駐車場無料が当たり前でないですし、こんなにバリエーションがない。子ども連れには車で良し、歩いて良しで最高です。

三つ目に、「さいたま新都心効果」があります。さいたま

五つ目として、若い世代の方の「価値観の変化」があります。かつては、憧れの街に住んでいることを誇るところがありました。しかし、今の若い世代の方の多くは、無理して背伸びすることをむしろカッコ悪いと考えるようになったと感じます。さいたま市は超洗練された街というわけではないですが、教育、スポーツ、自然など、さまざまな要素で、都市としての合格点を超えていて、特に子育て世代にとっては機能漏れのない街です。テレビ番組でもおしゃれな街より、やや雑然とした街のほうが視聴率が取れる時代です。

自分の街のために活動する市民が増えると、今よりもっと良い街になっていくと思います。自分たちがもっと暮らしやすくなるために、住民としてやった方がいい活動が、本当はたくさんあるはずなんです。一番大切なのは「自分の街が好きだ」という思いです。地元が好きで、好きな人に住んでもらえて、周囲と顔見知りの関係が築ければ、防災や防犯の機能も自然と高まります。互いに顔が見えて、「この街が好きだ」「この街のために何かやりたい」と、活動が能動的に生まれてくる。そんな取り組みがもっと増えていくといいですね。

今は、住民としてだけでなく、浦和エリアを盛り上げる活動にもお手伝い程度に参加しています。

等身大で住みやすい街

池本さんが思う
さいたま市が選ばれている要因を教えてください。

さいまざまな要因が考えられますが、大きく5つあります。一つ目は、「地の利」です。さいまざまな鉄道路線が通っているのに、南にも北にも行きやすく、抜群のアクセスの良さを誇ります。住みたい街の得票傾向をみると、浦和は地元票や都内

スーパーアリーナがあるおかげで、コンサートや試合の観戦などで全国から人が集まります。ショッピングモールのコクーンシティもあり、訪れてみて「きれい」「便利」「こんなに揃っているんだ」とさいたま市に魅力を感じるんですね。

四つ目に、「スポーツ環境の充実」が挙げられます。公園や荒川の河川敷など、のびのびとスポーツができる環境が身近に数多くあることは、子どもにとっても暮らしやすい環境と言えるでしょう。

五つ目として、若い世代の方の「価値観の変化」があります。かつては、憧れの街に住んでいることを誇るところがありました。しかし、今の若い世代の方の多くは、無理して背伸びすることをむしろカッコ悪いと考えるようになったと感じます。さいたま市は超洗練された街というわけではないですが、教育、スポーツ、自然など、さまざまな要素で、都市としての合格点を超えていて、特に子育て世代にとっては機能漏れのない街です。テレビ番組でもおしゃれな街より、やや雑然とした街のほうが視聴率が取れる時代です。

自分の街のために活動する市民が増えると、今よりもっと良い街になっていくと思います。自分たちがもっと暮らしやすくなるために、住民としてやった方がいい活動が、本当はたくさんあるはずなんです。一番大切なのは「自分の街が好きだ」という思いです。地元が好きで、好きな人に住んでもらえて、周囲と顔見知りの関係が築ければ、防災や防犯の機能も自然と高まります。互いに顔が見えて、「この街が好きだ」「この街のために何かやりたい」と、活動が能動的に生まれてくる。そんな取り組みがもっと増えていくといいですね。

今後のさいたま市に期待したいことはありますか。

自分の街のために活動する市民が増えてほしい

今後のさいたま市に期待したいことはありますか。

さいたま市は、これからも「住みやすい」まちとして発展していきます！

東日本の玄関口である大宮駅周辺では、駅前広場に隣接する地域のまちづくり、交通基盤整備及び駅機能の高度化を三位一体で進め、駅周辺の更なる利便性を高めます。県都や文教都市である浦和駅周辺では、今後も魅力ある都心拠点であり続けるために、建築家の隈研吾さんなどを交え浦和らしい風格ある都市づくりを進めます。また、与野本町駅周辺では、中央区役所周辺の公共施設再編や駅周辺の利便性向上、本町通りのまちづくりなど、地域の資源とふれあい、多様な世代が集い・暮らす魅力的なまちを目指します。さらに、交通ネットワークの充実を図るため、浦和美園駅から岩槻駅まで地下鉄7号線を延伸する取り組みを進めています。



大宮駅グランドセントラルステーション化構想のイメージ